

Q2 県獣医師の魅力、やりがいは何ですか。(※複数回答あり)

A2 ●福島県(民)への貢献

- 食鳥検査業務や外部検証、食鳥処理衛生管理者講習会などの業務を通じ、県民の食の安全を守ることができること。
- 動物愛護、食品衛生、と畜検査等幅広い分野に携わることで、県民の暮らしを支えることができること。
- 家畜衛生業務を通じて、産業動物の疾病対策予防を行い、畜産物の安全性と農家の信頼を守ることができること。
- 試験研究や業務を遂行することで農家を支えるだけでなく、福島県を技術的に先進県とすることに繋がるため、非常にやりがいがあること。

●獣医師としての自己実現やスキルアップ

- 農家の皆さんとの個別相談から地域全体の家畜防疫、畜産振興まで、幅広く貢献できること。
- 現場での業務が多く、直接農家の皆さんと関わることができ、獣医師としての専門知識や技術を活かすことができること。
- 診療獣医師と比較して、他分野の関係者と連携するため、幅広い知識を習得可能であること。
- 牛、豚、鶏など複数の畜種に関わること。
- 動物に係る諸課題に対し、幅広くアプローチできる機会があることから、自身の適性を活かしたチャレンジができる。
- 1つの職場だけでも多岐にわたる業務や試験研究等を経験できるため、獣医師としてのスキルに限らず、様々な知識や技術を得ることができる。
- 配属された所属によって様々な業務の経験とスキルを身につけられる点が魅力。例えば、会津では動物愛護業務の他に、馬豚のと畜検査を経験でき、食肉衛生検査所では食鳥検査を経験できる。
- 食に直接つながる家畜を取り扱うため、業務成果を肌で感じやすい。
- 法律の範囲内の権限をもって、不適切な飼育法や飲食店等の衛生管理を指導し、改善させることができること。
- 県内外やオンラインでの研修に参加できる機会が多く、働きながらスキルアップできること。
- 法律や予算を前提とした、事業の立案を身に付けられること。
- 県独自の事業を策定し、実践できることが公務員獣医の魅力の一つ。

●多様な動物との関わり

- 収容動物の返還や譲渡を通じて、その命を救うことができること。
- 犬や猫の無駄な引取りを減らすことに貢献できること。
- 馴致や健康管理等を通じて、犬や猫と深く関わるができること。
- 様々な家畜を取り扱うことができること。

●人との出会い、つながり

- 農家さんと一緒に病気対策に取り組み、「病気が少なくなった!」「薬代が減った!」と言ってくれた時。
- 全国の獣医師担当者と知り合うことができ、つながりができること。
- 検査での出張が多く、様々な方と知り合えること。

●仕事とプライベートの両立

- 臨床獣医師よりも仕事とプライベートの両立がしやすいこと。
- 業務のメリハリをつけながら、趣味などとの両立を図るなど、ライフワークバランスをとりやすいこと。
- 趣味の時間を確保しやすく、プライベートも充実させることができる。
- 休暇が取りやすいこと。

●その他

- 自分（所属）の利益に左右されることなく、衛生指導が可能。
- 個人の事情等も考慮してもらい、必要に応じ異動が可能であること。
- 経済的安定性があること。
- 福利厚生が充実していること。
- 障がいのある方でも働くことができること。